

所属・氏名（ 保健医療学部 救急救命学科 氏名：山本 弘二 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 救急資器材マニュアル	共著	2015年12月	ぱーそん書房	救急資器材の取り扱い方法及び管理について まとめたもの(総ページ数:129頁) (著書全体の著者名:安田康晴、山本弘二、竹 井 豊、荒木徳孝) 担当部分の概要:搬送資器材の取り扱い方法及 び管理について (担当ページ:116~129頁)
2 (著書) 救急現場活動シリーズ 「特定行為」	共著	2015年12月	へるす出版	救急救命士の救急現場活動に必要な知識と技 術をまとめたも教書。(総ページ数:69頁) (著書全体の著者名:安田康晴、山本弘二、竹 井 豊、友安陽子) 担当部分の概要:特定行為(担当頁特定不可 能)
3 (著書) セルフチェック救急救命 15000問	共著	2017年12月	へるす出版	スマートフォン等で閲覧できるアプリケーション で、学生の修学支援となるようにシステムが構築 され、救急救命士標準テキストの内容を容易に 把握できるもの。(電子書籍) (編集:救急救命士教育育成研究会) (担当頁特定不可能)
4 (学術論文) 救急車サイレン音は自動車運 転者に聴こえているのか。	共著	2019年1月	日本臨床救急医学 会	自動車運転時の車内騒音量とサイレン音量との 比較について (著書全体の著者名:安田康晴、山本弘二、岸 誠司、友安陽子、坂口 英児、藤原ウエイ翔) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 (学術論文) 救急自動車の緊急走行中に おける交通事故の傾向と対策 (筆頭論文)	原著	2020年12月	日本臨床救急医学 会	論文全体の概要:救急自動車の緊急走行中に おける交通事故の事故形態を分析し対策を検討 したもの。(総ページ数:8頁) (著書全体の著者名:山本弘二、安田康晴、友 安陽子、坂口英児、宮崎龍二)
6 (学会発表) 外傷傷病者に対する頭部保 持方法の検討	共著	2019年5月	第35回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	安定した頭部保持ができる方法の検討を行って いるもの。(総ページ数:1頁) (著書全体の著者名加藤駿太、友安陽子、坂口 英児、吉川孝次、山本弘二、安田康晴) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能(抄録集32頁)
7 (学会発表) 救急自動車患者室中型化の 必要性についての検討	共著	2019年5月	第35回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	救急車自体の大きさや走行性、患者室、車内 での救急処置の可否について検討し、課題抽出と 結果考察を行っているもの。(総ページ数:1頁) (著書全体の著者名坂口英児、安田康晴、山本 弘二、友安陽子) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能(抄録集25頁)
8 (学会発表) 救急自動車の緊急走行中に おける交通事故の傾向と対策	原著	2021年5月	第37回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	論文全体の概要:救急自動車の緊急走行中に おける交通事故の事故形態を分析し対策を検討 したもの。(総ページ数:1頁) (著書全体の著者名:山本弘二、安田康晴、友 安陽子、坂口英児、宮崎龍二)(抄録集43頁)